

史学委員会 歴史認識・歴史教育に関する分科会（第24期・第1回）
議事要旨

日時 平成30年3月7日（水） 10時～12時

会場 日本学会議 5-A（2）会議室

出席者：久留島典子（世話人）、栗田禎子、佐野正博、若尾政希、井野瀬久美恵、長志珠絵、大日方純夫、君島和彦、木村茂光、久保亨、坂井俊樹、高橋裕子、中村元哉、姫岡とし子、平野千果子、星乃治彦、三谷博、桃木至朗、柳原敏昭（以上19名）

議題

1. 役員を選出

委員長に久留島典子、副委員長に栗田禎子、幹事に鈴木茂、平野千果子を選出した。

2. 24期の活動方針と今後の進め方について

- ① 冒頭で久留島委員長より、第23期の活動について報告があった。特に23期で検討した教科書検定制度をめぐる諸問題については、今期にまとめる予定である提言書に直接かかわる課題として、引き続き議論を進めることが確認された。
- ② 出席者から、検定制度に加えて教科書が採択される過程の重要性が指摘され、採択プロセスの現状や検討すべき諸論点について、活発に意見が交わされた。
- ③ 上記の報告や議論を踏まえ、提言とりまとめに向けての情報収集の一環として、今後以下の方々に報告を依頼することが提案された。
 - ・文部科学省の教科書調査官
 - ・教育学（教育法学・教育行政学）の専門家
 - ・教科書編集に携わっている出版社所属の編集者
 - ・分科会委員の近藤孝弘氏より、教科書作成・採用過程等をめぐる国際比較の報告
- ④ 分科会の基本的問題意識として、歴史認識と歴史教育の緊密な関係性、研究の成果を教育にいかに関与・還元するか、メディアの役割、等、歴史意識の形成過程をめぐるさまざまな要因を考慮・議論した上で、具体的提言を練り上げていくことが確認された。
- ⑤ 提言をまとめるスケジュールについては、役員で原案を作ることが了承された。
- ⑥ 事務局に提出する平成30年4月～平成31年3月の開催計画が、以下のとおり了承された。

平成30年6月 平成30年9月 平成31年1月

3. その他

本分科会でメーリングリストを作ることが提案され、了承された。

以上（議事録担当：平野）